



「現代日本塾」 第46回

NIPPONを動かそう

現代日本社会学部

日時：平成29年 10月5日（木）V限目 16：50～18：20

場所：4号館3階 431教室 はっとり けいろう

講師：明治学院大学経済学部 教授 **服部 圭郎** 先生

演題：「若者のためのまちづくり」

（プレゼンター：笠原 正嗣 教授より）

服部圭郎先生の著書『若者のためのまちづくり』は現代日本社会学部地域社会分野学生にとっては2年生での必読書である。地域社会で学び、地域社会で活動していくことを決心した学生たちが、大人目線のまちづくりがいかにか時代に即していないか、自分たちの目線こそ、将来の地域社会を変えていく力になるのだということに気づかされ、励まされる書である。

服部先生は、全国の大学で地域活動に取り組む学生たちの集まりである「全国まちづくりカレッジ」（まちカレ）を長年、温かいまなざしで見守ってこられている。今年度、本学学生がまちカレ開催すると名乗りを上げたことを受け、記念講演をご依頼したところ、快諾してくださった。5年前にまちカレを伊勢で開催したときは、開催校のバトン服部先生のゼミ生が引き継いだというご縁もある。

学生たちには、若者にとってまちづくりとは何か、何をなすべきなのか、グローバルな発想をお持ちの服部先生のご講演を通じて原点に立ち返って考える絶好の機会としていただきたい。



講師プロフィール：

1963（昭和38）年に東京都で生まれる。東京そしてロスアンジェルス郊外サウスパサデナ市で育つ。東京大学工学部を卒業し、カリフォルニア大学環境デザイン学部で修士号を取得。某民間シンクタンクを経て、2003（平成15）年から明治学院大学経済学部で教鞭を執る。2009（平成21）年4月から2010（平成22）年3月にかけてドイツのドルトムント工科大学客員教授。現在、明治学院大学経済学部教授。専門は都市計画、地域研究、コミュニティ・デザイン、フィールドスタディ。博士（関西学院大学、総合政策研究科）、技術士（都市・地方計画）。

主な著書に『ドイツ縮小時代の都市デザイン』、『若者のためのまちづくり』、『道路整備事業の大罪』、『人間都市クリチバ』、『衰退を克服したアメリカ中小都市のまちづくり』、『サステイナブルな未来をデザインする知恵』、『ブラジルの環境都市を創った日本人：中村ひとし物語』。共著に『下流同盟』、『脱ファスト風土宣言』、『都市計画国際用語辞典』、『Global Cities, Local Streets』など。共訳書に『都市の鍼治療』、『オープンスペースを魅力的にする』。

所属学会は、日本都市計画学会、日本建築学会、地域活性学会、日本環境学会、日本計画行政学会、Environmental Design Research Association。